

## 9 月上中旬出荷向けの黄色コギク新品種「常陸オータムレモン」

### [要約]

「常陸オータムレモン」は花色がレモンイエロー系の黄色である。切花長は「小鈴」より長く、切花重は重く、ボリューム感に富む品種である。開花は、揃いが悪くただら咲きであるが、9 月上中旬の出荷が可能である。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成 果  
区 分

普 及

### 1. 背景・ねらい

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では産出額が第 1 位、全国においても栽培面積が第 2 位、出荷量が第 3 位のシェアを占め、重要な花き品目となっている。主な作型は、7 月東京盆、8 月旧盆、9 月彼岸の物日出荷である。生産現場と市場関係者からは、茨城県産の出荷時期の拡大のため、物日出荷に加えて、物日前後に出荷できる新品種の育成が要望されている。そこで、白色品種の占有率が高く有色品種の要望が高い 9 月上旬に出荷可能な、県オリジナル品種を育成する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成 16 年に「銀星」の自然交配種子を採種し、得られた 54 の実生から選抜した品種である (図 1)。
- 2) 花色はRHSカラーチャートで7Cのレモン系の黄色である (図1、表1)。色は圃場で開花させると退色しやすいが、通常の切り前で生けると問題ない程度である。
- 3) 開花時期は9月上中旬で、「小鈴」より10日以上遅く、「あずさ」より数日早い、揃いが悪くただら咲きである (表1)。
- 4) 切花長は「小鈴」より長く、切花重は重く、ボリューム感に富む。また花蕾数は20輪程度と適数で、「あずさ」や「小鈴」よりも少ない (表1)。
- 5) 現地試験は、切花長、茎葉色、収量、作りやすさの評価が高く、花色や花質 (花の大きさなど) では評価が分かれる。また、ボリュームがすぎる場合があるとの指摘がある (表 2)。
- 6) 市場評価は、うすい花色とやや大きい花で評価は分かれるものの、総合的には普通よりやや良い評価である (表 3)。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成 23 年 3 月 18 日に品種登録された (登録番号 第 20661 号)。。
- 2) 育成時の系統番号は「ひたち 11 号」および「生研 13 号」である。
- 3) 県内全域で栽培できるが、表 1 の特性値は笠間市安居におけるものである。
- 4) 種苗は、(社)園芸いばらき振興協会を通じて、県内配布予定である。
- 5) 本品種は電照栽培への適応が可能で、電照により開花揃いが改善される。

#### 4. 具体的データ



図1 コギク「常陸オータムレモン」

表1 コギク「常陸オータムレモン」の特性（試験：平成20年、笠間市安居）

品 種	花色 (RHS) <sup>1)</sup>	開 花 始～終 (月・日)	切 花 長 (cm)	切 花 重 (g)	節数 (節)	分 枝 数 (本)	花 蕾 数 (輪)	花径 (cm)
常陸オータムレモン	黄 (7C)	9.6～9.15	95.0	81.2	39.4	11.0	19.2	4.0
あずさ	黄 (12A)	9.10～9.16	95.5	77.8	46.8	9.4	53.1	3.3
小鈴	黄 (9A)	8.24～8.30	75.1	69.0	34.4	7.8	28.9	3.4

1) RHS カラーチャートによる。

表2 現地試験におけるコギク「常陸オータムレモン」の生産者評価

試験年	導入希望 有：無	総合 評価	収量	作り やすさ	病虫害 発生	切 花 長	花色	花質	茎 葉 色	ホリ ュ ーム	草 姿
平成19年	3：0	4.0	3.7	3.7	3.0	4.0	3.7	3.7	3.7	4.0	3.7
平成20年	1：2	2.3	3.3	3.2	3.2	3.3	2.7	3.0	3.3	3.0	—

注) 生産者3名による評価。総合評価・作りやすさ・切花長・花色・花質・茎葉色・ホリューム・草姿；1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。収量；1：極少，2：少，3：中，4：多，5：極多。病虫害発生；1：甚，2：多，3：中，4：少，5：無。

表3 コギク「常陸オータムレモン」の市場評価（試験年次：平成19年）

花色	花の大きさ	花の形	花数	茎葉の 色	ホリ ュ ーム感	草姿	総合評価
やや良い	やや良い	やや良い	やや良い	普通	普通	やや良い	やや良い

注) 評価者数は12名。評価者の結果を良い、やや良い、普通、やや悪い、悪いの5段階化した。

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 本県小ギク産地活性化のためのブランド品種の育成・平成14～平成19年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成6年度～・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 3) 新品種育成普及促進事業・平成19年度～・園芸研究所花き研究室